

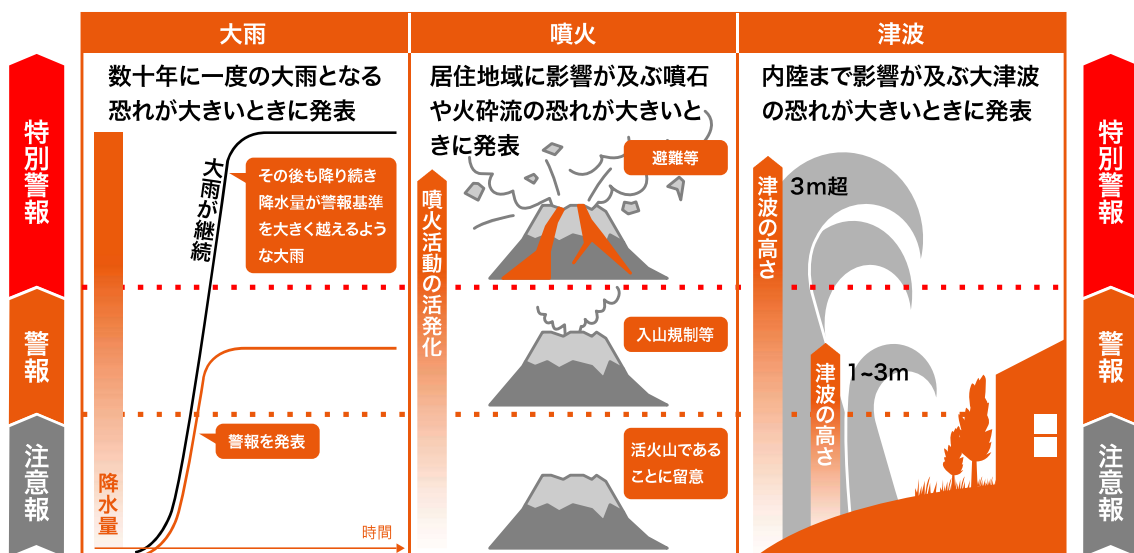


特別警報とは、「警報」の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に発表され、対象地域の住民に対して最大限の警戒を呼びかけるものです。大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪はそれぞれ「〇〇特別警報」、地震・津波・噴火は危険度が非常に高いレベルのものを「特別警報」と呼びます。行政機関やさまざまなメディアを通じて確実に伝えられます。

この言葉を見たら聞いたら

「特別警報」 すぐ行動！

特別警報イメージ



特別警報の発表基準	
現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により 暴風が吹くと予想される場合
高潮	高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

(出典：気象庁)

津波・火山・地震に関する特別警報		
津波、火山、地震については、従来からの警報のうち、危険度が非常に高いレベルのものが特別警報に位置づけられています。		
現象の種類	特別警報	基準
津波	大津波警報	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合
火山噴火	噴火警報	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合
地震	緊急地震速報	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合

(出典：気象庁)